

運転代行フロント

front

30

保険代理店のセーフティ(静岡県御殿場市、土屋廣実社長)が運営する、運転代行サクシードは、従業員マニュアルの徹底で利用者目線のサービスに力を注ぐ。随伴車4台、従業員14人。2006年に開業した。

「お酒を楽しんだ余韻を家まで」という方針の下、安心・満足・感謝に

サクシード(静岡・御殿場市)

御殿場地区の料金値上げを

つながるサービスで差別化を図る。「狭い街だから、すぐにつわさが広がる」(土屋社長)と言いつながるサービスで差別化を図る。「狭い街だから、すぐにつわさが広がる」(土屋社長)と言いつながるサービスで差別化を図る。



随伴車全車に料金メーターとドライブレコーダーを設置。土屋社長(右)と臼井専務

利用履歴など個人情報を守秘義務を厳しく指導している。現場で指揮する臼井勇

人専務は「掛け持ちしている人ばかりなので、昼間の仕事に影響が出ないよう無理させない」と強調。状況によっては帰宅させるなど健康管理に気を遣う。

営業エリアは市内と隣接の小山町。人口10万人足らずだが、11社が競合する。土屋社長は「代行は安いというイメージが定着しており、どの事業者ももっかかっていない。最低賃金の引き上げや任意保険義務づけといった経費の増大を背景に、値

上げの必要性を訴える。同社をはじめ、御殿場地区の運転代行業組合(高瀬朋宏会長)の全9社が11月以降値上げし、同じような料金体系とする方針だ。繁忙時間帯など1社で注文を受けられない場合、各社で分担しやすくなり、利用者利便につながるとしている。

全国運転代行協会の理事を務める土屋社長。地元には協会加盟社がないことを懸念する。行政の情報をはじめ早く入手したり、業界の要望を訴えたりできるのが全国組織の強みと認識し、勧誘に熱を入れている。